

- ・補助率 国1/2

## エ 交流・連携と生活を支える交通基盤の整備

### (ア) 高速交通ネットワークの整備

- (a) ⑧外国人観光客受入態勢整備モデル事業 2,000

外国人観光客の誘致を図るため、市町村や観光関連事業者等が行う受入態勢整備の経費に対し助成します。

- ・補助率 1/2以内
- ・限度額 100万円
- ・補助対象 施設内総合案内表示板等

- (b) 韓国国際定期便利用促進事業 114,528

国際定期便の充実に向けて、ソウル便の利活用促進を図ります。

#### ①航空会社への支援

- ・着陸料減免及びターミナルビル使用料等助成

#### ②地域別「利用促進協議会」負担金

#### ③定期便利用促進対策事業

- ・⑧旅行企画促進事業

旅行会社等で組織するソウル便利用促進協議会が行う日本人利用者向けPR事業に対して助成します。

#### ④韓国からの誘客対策事業

- ・インバウンド旅行商品売込事業

既存商品のPRと新規商品造成に重点を置いた旅行商品の一層の売り込みを図るため、CD-ROMなどを使い、秋田の観光地の魅力を韓国市場にPRします。

- ・韓国旅行エージェント・マスコミ招聘事業

- ・国際定期便利用旅行商品造成支援事業

国際定期便を利用した秋田への旅行商品を企画販売する韓国の旅行エージェントに対し、実績に応じた助成をします。

- ・韓国でのイベント参加、広告掲出事業

韓国内の新聞等へ広告を掲出するとともに、ソウルで行われるイベント等に参加し、秋田県をPRします。

- ・韓国テレビ取材協力事業

秋田県を紹介するため、韓国のテレビ番組等の取材に協力します。

#### ⑤韓国交流推進対策事業

- ・秋田韓国国際交流促進事業補助

民間団体の草の根交流等を支援するため、交流事業の一部経費を助成します。

- ・交流フォローアップ対策

韓国との学校間又は文化・スポーツ等を通じた交流を希望する団体に交流先を斡旋するほか、団体代表者の韓国派遣及び韓国側代表者の招聘を行います。

- (c) ⑧国際チャーター便拡大事業 5,403  
 チャーター便の増便により、秋田空港の国際便利用促進を図るため、台湾からの観光客誘致を行います。  
 ・事業内容 台湾マスコミ関係者招聘、現地PR（現地情報誌等へのPR）、現地でのイベント参加等
- (d) 秋田空港整備事業 51,815  
 秋田空港の滑走路・誘導路等の航空灯火設備の改良等を行います。  
 ・事業内容 滑走路警戒灯・予備発電装置実施設計等
- (e) ⑧秋田空港駐車場整備事業 61,592  
 県道秋田空港東線の工事施工に併せ、空港利用者の利便性向上を図るため、駐車場を増設します。  
 ・事業内容 駐車場拡張工事（232台）、降車レーン設置等
- (f) 秋田中央道路整備事業 9,700,000  
 秋田市中心部の交通渋滞緩和と中心市街地の活性化対策として、地域高規格道路を整備します。  
 ・総事業費 約686億円（平成9～19年度）  
 ・整備延長 2.55km（秋田市旭北錦町～手形）  
 ・18年度事業 トンネル設備工事（照明、配管工）、街路部舗装工事、標識工事等
- (g) ⑧秋田県新総合交通ビジョン（仮称）策定事業 6,426  
 市町村や交通事業者と連携して、合併市町村の地域内交通のあり方を検討するとともに、今後の秋田県の総合交通施策の方向性を示した「秋田県新総合交通ビジョン（仮称）」を策定します。  
 ・事業内容 将来地域交通網予測調査、高速道路無料化影響調査、県民アンケート

(イ) 地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備

- (a) 県単道路改築事業 770,000  
 県管理国道や県道のうち、補助対象外の箇所について、緊急生活道路整備枠として地域振興局長の裁量で道路整備を行います。  
 ・緊急生活道路整備枠：各振興局 90,000～100,000

(ウ) 地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備

- (a) ⑧地方鉄道安全性評価事業 12,186  
 安全で安心な鉄道輸送のため、秋田内陸縦貫鉄道㈱が行う鉄道施設の安全性調査に必要な経費を助成する。

## (6) その他

- (a) 「21世紀の広域的まちづくり」推進事業 2,360,765  
合併後の臨時的な財政負担を軽減し、新しいまちづくりを支援するため、合併市町村に対して合併市町村特例交付金を交付します。
- ・交付先 15市町
  - ・金額 合併前市町村毎に上限2億円
  - ・交付期間 合併年度又は翌年度から連続する5カ年
- (b) 市町村への権限移譲推進事業 76,937  
市町村の自立と個性的なまちづくりを一層推進するため、条例に基づき市町村へ移譲する事務に要する経費を交付します。
- ・交付先 受入市町村
  - ・移譲事務 農地転用の許可等92項目
  - ・交付対象 事務処理に要する経費及び初期導入経費
- (c) 市町村振興資金貸付事業 3,000,000  
市町村及び一部事務組合が行う緊急性の高い公共施設の整備事業等に対して無利子又は低利の融資を行います。
- ・無利子融資対象事業 国体施設整備事業、合併市町村の施設整備事業、自立元気枠事業、厚生連病院枠事業等
- (d) ⑧「あきた21総合計画」第3期実施計画推進事業 2,719  
第3期実施計画の普及を図るため、計画の政策・施策をテーマとした写真コンテスト等を実施します。
- ・事業内容 写真コンテスト開催、PR用ビデオ制作、出前講座開催
- (e) 県民と一緒に考える秋田の将来創造事業 2,436  
県民が夢を持てる活力ある秋田を創造していくため、県民参加の研究会を設置します。
- ・メンバー 県民及び県職員
- (f) ⑧県民協働施策推進事業 3,000  
県民と協働して施策を推進するため、各種会合やイベント等、あらゆる機会を通じて、県の施策・事業のPRを行います。
- (g) ⑧地域別計画推進事業 84,548  
地域振興局が現場主義に基づき、地域資源を活用しながら地域住民との協働により地域課題を解決し、地域の活力を創造するため、「第3期実施計画地域別計画」に掲げる「重点プロジェクト」等を主体的に推進します。
- ・1地域振興局当たり3年間で30,000千円
- (h) 振興局調整費 40,000  
振興局の判断で、地域の様々な課題に迅速・柔軟・きめ細かに対応します。

- ・ 1 地域振興局当たり5,000千円
- (i) ⑨地域振興局健康管理室（仮称）相談員配置事業 7,500  
地域振興局職員の健康の保持増進を図るため、相談員が各振興局を巡回し心身両面の健康相談を行います。
- (j) コンビニエンスストアに対する県税収納事務委託事業 7,529  
納税者の利便性を高めるため、コンビニエンスストアにおいて自動車税を納付できるよう、収納事務を委託します。  
・ 開 始 時 期 平成18年6月1日
- (k) ⑨「平和の日」の集い開催費負担金 2,200  
本県文化の振興を図るため、日本ペンクラブ、秋田市、秋田県の共催により「平和の日」の集いを開催します。  
・ 開 催 月 日 平成19年3月3日  
・ 開 催 場 所 秋田市文化会館
- (l) ⑨秋田わか杉国体・大会行幸啓準備事業 45,840  
第62回国民体育大会冬季大会等に御来県される各皇族方をお迎えするために必要な準備を行います。
- (m) ⑨秋田わか杉国体・大会行幸啓警衛警備事業 97,064  
第62回国民体育大会冬季大会等に御来県される各皇族方の万全な警衛警備を実施するための準備を行います。
- (n) ⑨第10回北海道・北東北知事サミット開催費 1,455  
北海道・北東北の知事が一堂に会し、広域的な行政課題等について相互の連携や交流を深めるため、意見交換を行います。  
・ 開 催 月 日 平成18年8月22日  
・ 開 催 場 所 国際教養大学及びプラザクリプトン
- (o) ⑨東京発あきたまるとPR事業 3,500  
首都圏住民等に秋田の良さを理解してもらうため、東京事務所において首都圏における秋田のPR及び情報発信を行います。  
・ 事 業 内 容 イベントPR、農産品販路拡大、観光物産情報機能強化等
- (p) ⑨設計VE導入事業 3,716  
公共事業のコスト縮減を図るため、「設計VE（バリューエンジニアリング）」の導入を推進します。  
・ 事 業 内 容 アドバイザー委託  
※設計VE：設計段階において機能を確保しながらコストを縮減するために、通常の設計プロセスでは気づかないような改善余地を効率的に見つけ出す管理技術

## チーム2 1 関係事業

新規チームにおいては、当初予算でチームの基本的な活動に要する経費を計上することとし、本格的な政策展開のための経費は、補正予算において検討します。

### 〈新 規〉

- (a) 保健医療情報ネットワーク調査事業（保健医療情報IT化促進チーム） 2,624  
地域間格差を是正し、県内どこでも均質な保健医療サービスを受けられるよう、保健医療分野の情報システム化を進めます。
- ・事業内容 ホームページによる保健医療関連施設等の情報提供  
各健（検）診団体間で相互利用できるネットワークの整備  
遠隔診断を可能にする病院間ネットワークの整備

### 〈継 続〉

- (a) 高齢者健康づくり推進事業（高齢者健康づくり推進チーム） 12,731  
元気な高齢者を増やすため、高齢者が手軽に実践できるような健康づくりのプログラムを策定・普及するなど、高齢者の健康づくり県民運動を推進します。
- (b) 安全・安心なまちづくり事業（安全・安心まちづくりチーム） 11,735  
安全・安心なまちづくりを進めるため、県民の防犯意識を高めるとともに、自主的な防犯活動を支援します。
- (c) ㊦あきたっ子の安全・安心サポート事業（安全・安心まちづくりチーム） 1,533  
児童の登下校時の安全・安心を確保するため、児童が自ら危険を回避する力を身につけることを目的とした地域安全マップの作成を指導する者を養成します。
- (d) 地産地消で元気なあきた応援事業（食の国あきた推進チーム） 10,115  
県産農産物の県内における消費拡大に支援するとともに、県民主体の地産地消運動の推進を図るためにネットワークづくりを行います。
- (e) みんなで創ろう「食の国あきた」推進事業（食の国あきた推進チーム） 17,234  
安心できる食の確保と豊かな食生活の実現、食の源である農業の活性化を図るため、地域の伝統的な食文化を見直し、秋田らしい食の運動を進めます。
- (f) 生き生き物産応援事業（生き生き物産応援チーム） 28,570  
県外市場の開拓に意欲的な企業の販路拡大を支援するとともに、本県食品産業の中核である日本酒について国内外への販売展開を図ります。
- (g) 建設業の新分野進出促進事業（生き生き物産応援チーム） 1,033  
建設業者の環境・リサイクル、農林水産及び福祉・介護分野等の新事業への進出を促進します。
- (h) 県産品振興対策事業（生き生き物産応援チーム） 24,895  
県産品の需要拡大と品質向上を図るため、商品の開発・改良を促進します。

## 地域別計画推進事業

第3期実施計画に掲げる「重点プロジェクト」等を地域振興局が主体的に推進します。

- ・事業期間 平成18～20年度
- ・総事業費 1振興局当たり3年間で30,000千円
- ・18年度事業費 下記のとおり

### ○鹿角地域振興局 10,507

農業との連携や豊富な温泉資源を活用した「癒しと健康」をテーマに体験型ツーリズムによる観光振興を推進します。

- ・キャッチフレーズ 「北東北のど真ん中 体と心が生き生き湯ったり」
- ・重点プロジェクト 「かづの「癒しと体験の里づくり」プロジェクト」

### ○北秋田地域振興局 6,252

豊かな自然とマタギ文化を活用した滞在型スロートーリズムによる観光振興を推進します。

- ・キャッチフレーズ 「マタギの森へ」
- ・重点プロジェクト 「北秋田スロートーリズムプロジェクト」

### ○山本地域振興局 11,212

白神山地を活用した体験型ツーリズムによる観光振興、地産地消の推進、風の松原に代表される森林を活用した心の健康の増進等を推進します。

- ・キャッチフレーズ 「白神の風、元気なまち」
- ・重点プロジェクト 「能代山本元気づくりプロジェクト」

### ○秋田地域振興局 8,800

八郎湖の環境浄化を目指した、流域の各地域の取り組みによる地域活性化を促進するほか秋田市との共同テーマにより地域活性化策を検討します。

- ・キャッチフレーズ 「めざせ！！「ほっと」で「ホット」な中央都市圏
- ・重点プロジェクト 「環八郎湖・水の郷創出プロジェクト」  
「県都秋田市との協働による活力ある地域づくりプロジェクト」

### ○由利地域振興局 11,168

「由利牛」ブランド確立のため、肥育牛頭数の倍増を目指す。

- ・キャッチフレーズ 「現状打破！！ 由利の夢トライ」
- ・重点プロジェクト 「由利牛「肥育チャレンジ」プロジェクト」

### ○仙北地域振興局 11,661

米だけに頼らない重点作目による複合経営の振興と加工・直売等のアグリビジネスの拡大を促進します。

- ・キャッチフレーズ 「勝てる農業大作戦！野菜も米も仙北から」
- ・重点プロジェクト 「仙北農業チャレンジプランプロジェクト」

○平鹿地域振興局

11,383

「平鹿」ブランドの確立と地域資源を活用した観光、特産品の振興、首都圏等への売り込みを行います。

- ・キャッチフレーズ 「あなたが主役で人集う 活力みなぎる新横手」
- ・重点プロジェクト 「「KissYourHeart♥」横手まるごと売り込み隊プロジェクト」

○雄勝地域振興局

13,565

栗駒山系の雄大な自然と温泉、多彩な特産品を生かした観光振興を図るため、魅力ある観光地づくりと大都市圏へのPR、誘客活動を展開します。

- ・キャッチフレーズ 「ほっとで 元気な 雄湯郷（ゆーとぴあ）づくり
- ・重点プロジェクト 「来てたんせ！こまちの郷へ」  
こまちの郷観光創造隊プロジェクト」